明日の観光業界を支えるスタートアップ企業　vol.5

ダイナミックプラス株式会社

ダイナミックプライシングサービスの開発・提供

平田英人氏

ダイナミックプラス（東京都新宿区）は「価値と価格を科学する」ことをテーマに、２０１８年６月に設立。

スポーツの領域を皮切りに、高速バスやレジャー施設など多くの業界に向けて需要に応じて価格を弾力的に変動させ、利益の最大化を図る「ダイナミックプライシングサービス」の活用を提唱するなど、ＳａａＳ事業を多岐に展開。

宿泊市場に対しても、旅館などホテル向けに特化したレベニューマネジメントシステム「Ｄ＋」を昨年10月から展開する。

社長の平田英人氏にサービスの詳細や、今後の事業展開などを聞いた。

――宿泊市場の現状およびダイナミックプライシングの実態についてどのように捉えているか。

平田　東京・大阪といった都市圏を中心にインバウンドの増加により、活況を呈している。

ＡＩを駆使したダイナミックプライシングの活用も全国の宿泊施設に広がっていると考え、新たな収益源の確保として関心を集めている。

――ホテルなど宿泊施設向けに展開する「Ｄ＋（ディープラス）」の説明を。

平田　顧客ごとに最適化されたＡＩモデルによるダイナミックプライシングを活用し、最適価格の算出から価格更新までを一貫して支援する点が最大の特徴。

他社システムはサービス利用・導入日からのデータ連携からＡＩによる価格の算出が行われることが主流であるが、「Ｄ＋」は２年間分の過去データを元にサービス導入前にＡＩモデルを作成する。

施設のＰＭＳやオンライン予約サイト、サイトコントローラーとのシス

独自のサービスでレベニュー業務を大幅に削減

テム連携を図ることで、在庫・販売状況をリアルタイムで自動取得し、最適な料金を導き出す唯一無二のシステム。

レベニュー業務を効率化・自動化することで、約７割の業務時間を削減するとともに、価格の反映まで完全自動化することで、最大１００％の業務時間の削減も可能だ。

――競合他社（施設）や近隣イベントなどの完全自動の情報収集機能を搭載しているが、そちらについては。

平田　当社の株主であるチケット会社が販売する日本全国で開催されるイベント情報のデータを網羅すると同時に、天候などの独自に持つ外部データを組み合わせて、完全カスタマイズしたシステムを構築するなど、一線を画す。

急激な需要増加に対応する独自のブースト機能や、最大13カ月先まで表示する主要ＫＰＩ管理ＢＩツールを搭載し、利便性を追求した。

――今後の事業展開と旅館・ホテルへのメッセージを。

平田　今年８月末現在、老舗旅館やビジネスホテル、リゾートホテルなど約40軒で採用されている。「Ｄ＋」を活用し、価格更新作業の約30％を削減し、前年比で売り上げを約10％向上させた施設も存在する。

今後５～10年以内に１万施設での導入を目指す。

会社ロゴ

【本社】東京都新宿区下宮比町２の26　ＫＤＸ飯田橋ビル６階６―３号室
【設立】2018年６月１日
【事業内容】ダイナミックプライシングサービス「Ｄ＋」の提供、レベニューマネジメントサービス「Ｒｅｖｅｎｕｅ＋」の提供、数理分析・ＡＩを用いた価格周辺領域のコンサルティング業務、組み込みソフトウェアの開発・保守
【資本金】７億5000万円　【ＴＥＬ】03(5213)4155
【ＨＰ】https://www.dynamic-plus.com/

お問い合わせはこちら

ＪＡＦ長野　ドラスタ開催

ビーナスライン　周辺地域をＰＲ

日本自動車連盟（ＪＡＦ）長野支部は長野県の観光道路であるビーナスラインの周辺地域ＰＲへ、信州ビーナスライン連携協議会と連携して「信州ビーナスラインドライブスタンプラリー」＝写真＝を１日に始めた。10月31日まで開催する。

６エリア30スポットを巡り、スタンプを集めると個数に応じて特産品が当たる特典に応募できる。スタンプ５個を獲得した人の中から抽選で60人にビーナスライン沿線自治体の特産品、７個を獲得した人の中から抽選で５人に六つの自治体からの特産品詰め合わせを贈る。

スタンプ設置場所は諏訪エリア９カ所、霧ヶ峰・八島・車山エリア３カ所、蓼科エリア２カ所、白樺湖・女神湖エリア７カ所、和田・鷹山エリア４カ所、上田・武石エリア５カ所。

スタンプスポットの中には、スタンプを取得するとクーポンが発行される施設や、ＪＡＦ会員が利用できる会員優待施設があり、お得にスタンプラリーを楽しめるという。詳細はＱＲコードから。

信州ビーナスライン
ドライブスタンプラリー
2025.8.1～10.31

詳細はこちら

サービスを超える極意

「旅館ホテル」のおもてなし

94

日本ホテルレストラン経営研究所　大谷　晃

旅館ホテルのこれからの役割①

旅館ホテルの役割とは何でしょうか。

お客さまに宿泊していただき、滞在中、心ゆくまで楽しんでいただくために、おもてなしに努めること、それがこれまでの旅館ホテルの最大の役割でした。しかし、時代が移り、団体旅行から少人数の個人旅行へと旅行の形態が変わり、また人口減少も進み、人手不足も深刻になる中、これまでのような単なる〝おもてなし〟に努めるだけでは、旅館ホテルは生き残れないところにまできています。

●〝非日常〟という感動

これまでの旅館ホテルはお客さまに〝特別な日常〟を味わっていただく場所でした。心地よい和室で、美しい景観を前に日本料理に舌鼓を打ち、温泉に心ゆくまでつかる。そしてなによりかゆいところに手が届く「おもてなし」を受ける。

そんな特別な日常を旅館ホテルは提供してきました。

しかし、これからはそれだけではない〝非日常〟の世界をもお客さまに提案することが必要です。それが存続の鍵になると考えます。

一般に、旅館ホテルは風光明媚だったり、美しい自然に取り囲まれたりする場所にあります。そこに住む人はその風景を毎日見慣れているために、それがどれほど素晴らしいか気づきにくいのですが、都会からのお客さまにとっては、自然の中で見るもの、聴くもの、触れるものすべてが新鮮です。幸せな気分にしてくれます。言いかえれば、これらすべてに商品価値があるということです。

例えば、水。山からの湧き水はびっくりするほどおいしく、来たかいがあったと感動するほどです。空気もそうです。こんなに空気っておいしいのかと、改めて気づきます。満天の星も、静けさもそうです。自然の奏でる音だけの世界に人々は感動します。日の出、夕暮れ、小川のせせらぎ、小鳥の鳴き声、木の葉を揺らす風の音、草木の香り、土の持つ感触など、その土地の人が想像する以上に、都会の人々はこの非日常の世界に心を奪われるのです。

このような四季の彩りと共に、五感（見る、聴く、触る、匂う、味わう）による素晴らしい自然をビジネスに生かすことこそが、これからの旅館ホテルにはなにより必要なのです。

＊　＊

■日本ホテルレストラン経営研究所＝ホスピタリティ業界（旅館、ホテル、レストラン、ブライダル、観光、介護）の人材育成と国際交流へ貢献することを目的とするＮＰＯ法人。同研究所の大谷晃理事長、鈴木はるみ上席研究員が監修する書籍「『旅館ホテル』のおもてなし」が星雲社から発売中。問い合わせは同社☎03（3868）3275。

＝隔週掲載

竹内美樹の口福（こうふく）のおすそわけ

565

ペットファーストな店

2020年2月に「ペットとお出かけ♪」というタイトルで、ペット同伴ＯＫのカフェをご紹介した。たった5年前だが、当時テラスでなく、店内もＯＫな店は珍しかった。その直後からコロナ禍が深刻化。緊急事態宣言で街から人が消えた。

コロナ後、在宅ワークやオンライン会議などが定着し、人々の生活様式にさまざまな変化があったのはご承知の通り。そんな中、大きな成長を遂げたのがペット業界だ。今やペット関連産業の市場規模は2兆円ともいわれるそうだ。

日本でコロナ禍がスタートした20年、赤ちゃんの出生数（84万人）をペットの新規飼育数（87・6万匹）が上回った。ステイホームで人とのコミュニケーションが希薄になり、孤独感を埋めたいという心理的な理由や、リモートワークで家に居られる時間が増え、飼育しやすくなったという物理的要素が、ペットの増加につながったのだ。

ちなみに25年4月1日時点における15歳未満の子供の数は1366万人（総務省発表）。24年の犬猫飼育数は1595万匹（一般社団法人ペットフード協会）と、子供の数よりずっと多い。番犬やネズミ駆除の役割を担っていた犬猫から、人を癒やす「愛玩動物」へ、そして今、一緒に暮らす家族の一員として「伴侶動物」に進化しているのだ。

筆者にとっても、愛犬はわが子同然だった。過去形なのは、彼女がこの春虹の橋を渡ってしまったから。しばらくいわゆるペットロス状態が続き、見かねた家族が、新たな子犬を迎えることを勧めてくれたので、同じシー・ズーの女の子を迎えた。そしてこのたび、カフェデビューを果たしたのだ。

前の子ピノは、緑内障で両眼の視力を失ってしまったため、晩年はほとんど一緒に出掛けられなかったから、現在の業界事情を知らなかったが、ペット店内同伴ＯＫの店がかなり増えているのには驚いた。今回伺ったのは、東京都森下の「ＰＩＺＺＡ＆ＣＡＦＥ　ＴＡＮＴＯＮ」。ペレット窯で焼き上げるローマピザがメイン。「わんこピザ」など、犬用のオリジナルメニューもある。

まず犬用の水のお皿が運ばれてきた。ペットファーストだ。有頭エビのアヒージョや、チェリートマトとシラス、ガーリックが載ったトマトベースのピザ「チチニエッリ」などを注文し、シェア。取り分け用のお皿が温めてあったのにビックリ！　犬にも人にも配慮が行き届いている。

同じシー・ズーの男の子や、フレンチブルドッグのワンコ会など、多くの犬に会えたが、昔のようにキャンキャンほえる犬は皆無。イマドキちゃんとしつけられているのだ。わが子ノアも、パピースクールに通っている。犬たちは皆お利口に座り、お客同士が犬を介してあいさつするなど和やかな雰囲気に包まれ、お腹も心も口福なひと時だった。

天国のピノ、たくさんの幸せをありがとう。姉ピノはワインブドウ品種ピノノワールから名付けたから、妹は続きでノワをもじってノア。ピノの分も、これから一緒にいろんなお店に行こうね♪

※宿泊料飲施設ジャーナリスト。数多くの取材経験を生かし、旅館・ホテル、レストランのプロデュースやメニュー開発、ホスピタリティ研修なども手掛ける。

新刊「白菊」刊行記念

山崎まゆみ氏がトークショー

東京・吉祥寺の書店で開催

温泉エッセイストで本紙にコラム「ちょっとよろしいですか」を連載中の山崎まゆみ氏が新刊『鎮魂の花火「白菊」　長岡の花火がつなぐシベリアと真珠湾』（河出書房新社）を刊行。その出版記念トークショーが9日、東京・吉祥寺の書店「街々書林」で開かれた＝写真。

同書は2014年に小学館から発刊された『白菊―ｓｈｉｒａｇｉｋｕ―伝説の花火師・嘉瀬誠次が捧げた鎮魂の花』の増補改訂版。構成を変え、全面改稿し、書下ろし編も新たに入れた単行本として7月28日に発売。

毎年8月1～3日に開かれる長岡花火（新潟県長岡市）の礎を築いた花火師の嘉瀬氏が、シベリアで抑留されて生きて帰ってこられなかった戦友たちのために同地で鎮魂の花火「白菊」を打ち上げた物語。今回、ハワイ真珠湾で2015年の「太平洋戦争終結70周年追悼式典」の際に「白菊」が上がった話を新たに加えた。

トークショーでは山崎氏の故郷でもある長岡市の花火の歴史や作品制作の裏話、取材時のエピソードを披露。進行を同書店店主で小田急トラベル社長などを歴任した小柳淳氏が務めた。

5月15日（木）
テレ東「なないろ日和！」で紹介
たった30秒!?　スッキリ　キレイ
30sec
カーペットや
じゅうたん、ソファなどに
付いたガンコな
シミや、汚れを
落とす！
シミとりスプレー
業務用
Newスーパー3S
火気厳禁
高圧ガス:DME 240ml
おかげさまで30周年
■東京都ホテル旅館組合指定商社
■日本温泉協会正会員
■全日本ホテル連盟賛助会員
システム・シャイン・サービス（株）
〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-8-10
TEL.03-5996-5407
http://www.3s-group.co.jp

あなたの「地域の宝」を見つけよう
インバウンド誘致・地域振興のノウハウを学べる
日本唯一のアドベンチャーツーリズム専門オンライン講座
アドベンチャーツーリズム・アカデミー
Adventure Tourism Academy
第３期　2025年　10月８日（水）開講
今、インバウンド旅行者の関心が、日本のアドベンチャーツーリズムへ向かっています。本アカデミーでは、深い知見を持つ専門家・講師陣のレクチャーにより、価値ある体験を創出し地域の魅力を最大限に引き出すことのできるコーディネイターの育成を目指します。
こんな方におすすめ！
● インバウンド誘致での地域振興を検討している自治体・DMO・旅行会社・ランドオペレーターの職員など
● ビジネスとしてアドベンチャーツーリズムに取り組みたい方

アドベンチャーツーリズム・アカデミーの５つの特徴
① 各分野の専門家による講座
② いつでもアクセス可能なオンライン講座
③ 持続可能な観光地域づくりの学習
④ 先進地域での実践的フィールドワーク
⑤ 関係者の全国ネットワーク展開形成
満足度92%！
＊修了生の声
＊第１期修了生（旅行会社、航空会社、観光DMC、個人ガイド会社起業など）アンケートより
修了生は自治体の公募案件対応や現地コンテンツ作成などで活躍中！
全13回にわたり大変素晴らしい内容で、とても勉強になりました。ありがとうございました。
とても学びと発見と振り返りが多い講座でした。貴重な機会をいただき、心から感謝しています。

開催概要
● 開催時期：【オンライン講座】約3か月を1クールとし、週1回、合計13回を目安として実施します。
【フィールド研修】オンライン講座終了後にアドベンチャーツーリズム先進地域にて3日間のフィールド研修を実施します。
（別料金）※オンライン講座終了後、受講者の所在地域におけるアドベンチャーツーリズム推進にむけたロードマップを作成し、専門家よりアドバイスをもらいます。ロードマップの提出後、修了証を発行します。
● 参加人数：1クール20名程度（フィールド研修は8名様限定となります）
● 参加費用：【オンライン講座】280,000円〈税抜〉（日本アドベンチャーツーリズム協議会会員 230,000円〈税抜〉）
※フィールド研修の参加料金については別途ご案内します。
● 参加方法：右記QRコードからオンラインでお申し込みください。または、Webサイトより申込用紙をダウンロードいただき、PDFファイルにて、下記あてにメール送信をお願いします。
● 申込〆切：2025年10月7日（火）までにお申し込みください。
● お申込・お問合せ先：アドベンチャーツーリズム・アカデミー事務局
電話：080-2299-2154　担当：出口　メールアドレス：academy@japanat.org

講座名と講師略歴
講座名　世界に選ばれるデスティネーションの考え方と求められるATリーダー人材
山下 真輝氏　（一社）日本アドベンチャーツーリズム協議会チーフディレクター　JTB総合研究所 研究理事（フェロー）　内閣府地域活性化伝道師
全国各地の観光振興に関わるプランニング・調査研究・旅行商品開発に従事。近年はスポーツツーリズム、ATの調査研究を行う。2014年より内閣府地域活性化伝道師として全国の観光振興政策を支援している。
講座名　世界のツーリズム動向とAT市場への期待
亀山 秀一氏　JTB総合研究所 主席研究員　サステナブルツーリズムイニシアティブ（JSTi）事務局長・常務理事
1988年運輸省（現国土交通省）入省。国土交通省観光庁国際交流推進課長、国連世界観光機関（UN Tourism）、JNTO理事長代理など、12年にわたり観光関係業務に従事。2021年国土交通省を退職後、2024年よりJTB総研主席研究員を務める。
講座名　外国人旅行者が求める高付加価値体験としてのAT
高田 健右氏　（一社）日本アドベンチャーツーリズム協議会　Global Marketing Director/ATTA Ambassador
メルボルンのHolmesglen Technical and Further Education Chadstone校で国際ビジネス学位を取得後、外国人客対応や、大小の会合、会議での英語を用いた司会プレゼンテーションなどを行う。2020年5月からATTAのAmbassadorに就任。
講座名　世界のAT先進地域と日本のAT地域としての可能性
芹澤 健一氏　一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会理事　アルパインツアーサービス株式会社取締役
ガイドの教育、トレッキング・ハイキングコースの総合的プロデュースなどを行う。ニュージーランドのトレッキングの第一人者。アンデス・ロッキー、アラスカ、ネパール・ヒマラヤなどでは自然環境に配慮したロッジのプロデュース全般にも関わる。
講座名　持続可能な観光地域づくりに向けた官民連携のあり方とエコツーリズムの取組
木名瀬 佐奈枝氏　一般社団法人TESHI-COLOR　代表理事、弟子屈町サステナビリティ・コーディネーター
20年にわたって、北海道弟子屈町のアウトドア会社の経営に携わり、2020年に（一社）TESHI-COLORの代表理事に就任。2021年からは弟子屈町のサステナビリティコーディネーターとして、持続可能な観光地域づくりに取り組んでいる。
講座名　世界のサステナブルツーリズムの動向とこれからの受入地域のあり方
熊田 順一氏　日本サステナブルツーリズムイニシアティブ（JSTi）常務理事　株式会社JTB 国際関係統括
訪日インバウンド事業で実践経験を積み、2014年から国連世界観光機関において日本人初の職員として勤務。SDGsと観光の研究を開始、その後、JTB総合研究所において同研究を継続。内閣府においてSDGs達成に貢献する観光分科会を主宰。
講座名　地元住民主導の観光地域づくりと高付加価値体験のあり方
内山 裕紀子氏　くまの体験企画　代表
2002年、三重県尾鷲市へUターン後、くまの体験企画を設立。総務省ふるさとづくり大賞個人表彰を受賞。日本インタープリテーション協会ITS33修了などを経て、日本エコツーリズム協会エコツアーガイド養成講習修了し、NACS-J自然観察指導員を務める。
講座名　メディアとの共創：地域の魅力を最大化するコミュニケーション戦略
岡本 岳大氏　wondertrunk & co.代表取締役共同CEO、デスティネーションプロデューサー
日本の地方を世界のデスティネーションにすることを目標に、ワンダートランク アンド カンパニーを設立し、デスティネーション・プロデュース事業を展開。観光庁「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」アドバイザーとしても活躍。
講座名　持続的な集客に向けた顧客マーケティング手法
マイケル・ジョン・ハリス氏　（一社）日本アドベンチャーツーリズム協議会理事　株式会社キャニオンズ 代表
ニュージーランド出身。日本で最初にキャニオニングをツアーとして確立。スノーキャニオニングの立案者。長年の経験と多岐に亘る豊富なアウトドアスキルとカリスマ性で日本のAT業界を牽引。“世界をリフレッシュする”をミッションとして活動中。
講座名　地域に眠るストーリーの活用法とアクティビティ運営のマーケティング手法
石飛 聡司氏　（株）mint 代表取締役
広島県出身。市内を周遊するサイクリングガイドツアー sokoiko! を2017年より開始。地域のストーリーをツアー化し、TripAdvisorで2019年より4年連続でアワード受賞。県内外で観光企画やツアー造成、ガイド育成事業に携わる。
講座名　ATGSに基づく高品質ガイドの育成と地域ブランドの強化
横堀 勇氏　WMAJ共同代表理事　WMAIインストラクター　WEMT/アウトドアガイド
カナダで環境学を学び、ロッキー山脈で山岳技術や救急法をマスター。その後カナダでガイド資格を取得後、WMAインストラクターとして災害救急法の普及に尽力する。さらに医療資格も取得し、現在日本国内で外国人対象のガイドとして活動中。
講座名　事故事例から学ぶ危機管理
早川 修氏　早川総合法律事務所　弁護士
弁護士。さまざまな省庁で自然のなかでの活動における安全に関する役職を歴任。2003年のリバーラフティング転覆事故を契機に、リスクマネジメントの研修活動を展開。アウトドアの第一人者として、安全意識の向上に貢献。
講座名　外国人旅行者が求めるツアープランニングと地域資源活用
シャノン・ウォーカー氏　KODO合同会社 代表
ニュージーランド出身。2019年にKODO合同会社をマイケル・ジョン・ハリス氏と共同設立。インバウンド誘致のコンサルティングなどを行う。ニュージーランド政府観光局で9年間に渡り、PR、マーケティング等の業務に従事。2020年よりATTAメンバーとして活動。
※ 講座名は予定されたタイトルであり、変更となる場合があります。　※ 講師と内容は変更となる場合があります。
ATA Webサイトはこちら
https://academy.japanat.org/
アドベンチャーツーリズム・アカデミー
お申込みフォームはこちら
一般社団法人
日本アドベンチャーツーリズム協議会